

令和5年4月20日

各位

独立行政法人国立病院機構
舞鶴医療センター附属看護学校
学校長 法里 高

舞鶴医療センター附属看護学校 学生募集停止について

謹啓

若草の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より本校の教育、学校運営につきましては、ご理解いただき感謝申し上げます。

さて、このたび、国立病院機構舞鶴医療センター附属看護学校は、令和6年度入学生の受け入れをもって学生募集を停止することを決定いたしました。

本校は昭和23年、国立舞鶴病院附属高等看護学院として開校して以来、75年にわたり看護教育を行ってまいりました。昭和31年には西日本で最初の看護師(男子)の養成を開始、昭和50年に国立舞鶴病院附属看護学校となり、平成16年の独立行政法人化とともに、国立病院機構舞鶴医療センター附属看護学校となりました。開校以来、舞鶴の地で2,800人以上の卒業生を輩出してまいりました。

しかしながら、看護教育の高等教育化等の社会情勢の変化等により、国立病院機構でも附属養成所の運営について検討がなされてまいりました。京都府北部地域の少子化・18歳人口の減少と近年の高校生の大学志向の影響により、学生の確保に苦慮していることを踏まえ検討を重ねた結果、令和6年度の入学生をもって学生募集を停止することといたしました。

本校は閉校しますが、入学した学生には最後まで責任をもって支援する所存ですので、何卒、ご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

母体病院であります国立病院機構舞鶴医療センターは、今後も地域に根差した病院として医療を提供してまいります。また、看護教育においても引き続き地域での支援を続けてまいります。

長年にわたり、本校の教育活動にご理解ご支援を賜りました皆様方には心より深く感謝申し上げますとともに、今回の決定につきましては何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

敬具